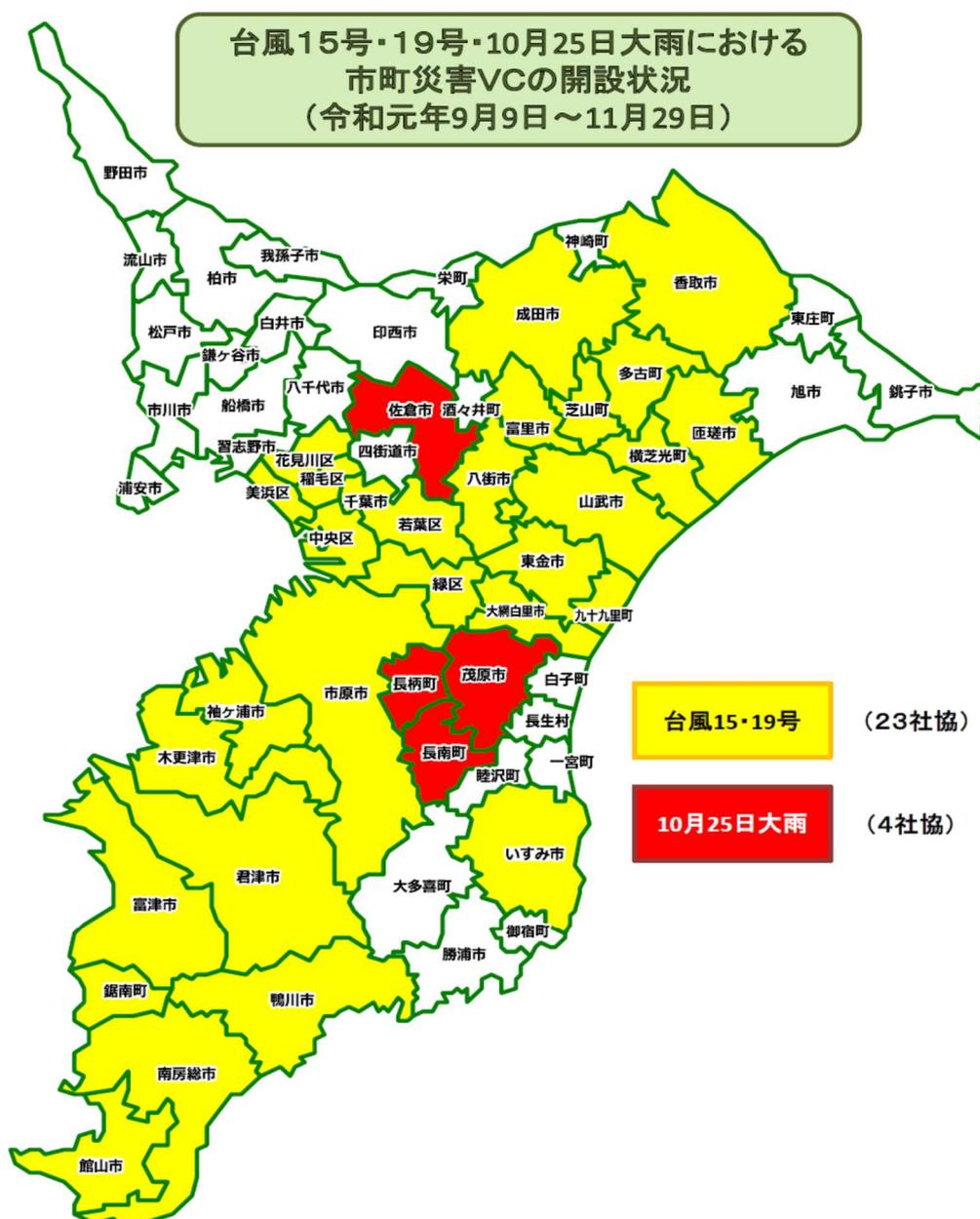


## 台風15号等災害におけるボランティア・NPO団体等の活動について

### 1 被災市町の災害ボランティアセンター等

- ・台風15号、19号により23市町で災害ボランティアセンターが開設。(9/12～)
- ・10月25日の大雨により4市町で災害ボランティアセンターが開設。(10/26～)
- ・11月29日に長柄町災害ボランティアセンターが閉所し、県内27市町の災害ボランティアセンター全ての活動が終了。
- ・設置期間中、県内外から37,711人のボランティアが県内の被災市町に駆け付け、被災家屋内のごみや土砂搬出などの作業を行った。



## 2 千葉県災害ボランティアセンター

- ・千葉県災害対策本部からの要請を受け、9月12日(発災から3日後)に開設。
- ・県災害ボランティアセンター連絡会メンバー等により、県内被災市町で設置された災害ボランティアセンターの後方支援を実施。(設置(立上げ)・運営の補助、物資提供、広報協力など)
- ・12月6日に活動を終了。(活動期間 86日)



(県災害ボランティアセンター活動スペース 及び 情報整理ボード)



## 3 県外の技術系NPO等の活動

- ・発災直後の9月10日から、県外の技術系NPO等が、支援物資の提供や現地調査のため、被災地に入った。
- ・以降、被災家屋のブルーシート展張などの支援活動を実施。(県南部や北東部を中心とした被災家屋へのブルーシートの展張作業や民有地での倒木処理は、一般的なボランティアは危険で作業できないため、現在も県外から応援に入っている技術系NPOの支援を受けている。)
- ・県内各被災地で支援活動を行っているNPO等が参加する「情報共有会議」がJVOADの主催で9月17日と9月26日の2回開催され、被災地で求められている支援やNPO等が行っている支援内容などの報告が行われた。
- ・今後、県外の支援団体がいなくなっても、ブルーシート張替え等の作業を続けることができるよう、県内NPOであるディーブデモクラシーセンターが中心となり、10月に

支援団体「千葉南部災害支援センター」を立ち上げ、必要な技術の習得や作業人材の確保などを始めている。また、この他に現在、複数の県内団体が、被災地の復興のために活動を開始した。

#### 4 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議 防災作業部会について

・今後、よりきめ細かい被災者支援を行い、被災地域の復旧・復興を実現すること及び今後の新たな災害に備えるためには、多様な市民活動団体等との連携を行っていく必要がある。

・より多くの市民活動団体に被災者支援活動に取り組んでもらう方法や支援団体のネットワーク化について検討を行うため、本年度、千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に防災作業部会を設置した。

・千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議において、同ネットワーク加盟団体に対して参加を募った結果、令和2年2月現在、市町村職員3名・市民活動支援センター1名・中間支援組織3名・県社協1名に参加して頂いている。参加募集は今後も継続して行っていく。

・同部会は既に本年度1回開催(令和元年12月6日)しているが、本格的には次年度以降始動する。